

## 玉宮小学校

### 「少人数学級の思考力・表現力・コミュニケーション力を高めるICT活用の工夫」

～地域のよさを交流し伝え合う地域学習を中心に～

#### I はじめに

玉宮小学校では、2015年度より、「少子化、人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の指定を受け研究を進めてきた。研究3年目となる今年は、地域の人材やICT及び3校のTV会議を活用して、これまで積み重ねてきた研究の成果を深化、発展させ、児童が学習した成果を地域の方々に発信する活動を通して、玉宮地域の伝統や文化、自然環境のすばらしさを地域全体で再確認することを目指した。

また、日頃の授業の中でも昨年度の実践を検証・改善・発展させ、ICTをどのように活用することが少人数学級児童の思考力や表現力を高めるために有効に働くのか、少人数学級ならではのICTを活用した活用方法の確立を図ることを目指した。

以上2つの観点から玉宮小学校では、上記の研究主題を掲げ、本年度の研究を進めた。

#### II 研究の方法と内容

##### 1 授業づくり

###### (1) 児童の実態把握

- ・NRTや学力診断テストの結果、「h-QU」などを活用して、児童の実態を総合的に把握し授業づくり・学級づくりに生かす。

###### (2) 地域学習の深化・発展を図る。

- ・地域人材を活用した授業づくりを行う。
- ・ICTを有効に活用し、絵や図、表、文を使って表現する指導方法の研究を行う。
- ・児童の学習成果を地域に発信することを通して、玉宮のよさを児童・地域みんなで確認する。

###### (3) TV会議システムを活用した3校合同授業づくり

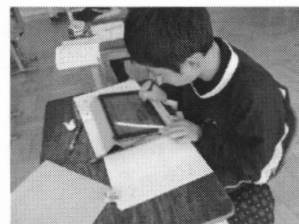
- ・児童の思考力・表現力・コミュニケーション力を高める学び合いの方法を研究・検証する。
- ・学習成果をICTを活用して資料にまとめる方法を検討する。

###### (4) 少人数学級ならではのICTを活用した授業研究

- ・ICTの有効な活用方法や指導法の研究・検証を行う。
- ・実践の交流を行い、活用方法を深化・発展させる。

##### 2 学習基盤づくり

- ・全校を一集団としてとらえ、「h-QU」の結果を学校づくりに生かす。
- ・学習規律や生活のルールをまとめた玉宮スタンダードの検討・取組を行う。
- ・朝学習、スタンバイ（帰りの学習）、家庭学習の内容や方向性について確認し、学習習慣の充実を図る。
- ・メディアとの付き合い方を考える機会を設ける（「アウトメディア週間」など）。



### Ⅲ 研究実践

- 1 学習会 ・「道徳についての学習会」 峡東教育事務所指導主事 三森公仁先生  
甲州市教育委員会指導主事 那須丈彦先生
- 2 ふるさと学習発表会
  - ・児童が学んできた地域学習を地域の人や保護者に向けて発表
- 3 TV会議システムを使った大藤小・神金小との3校合同授業
  - ・第6年年 道徳科「ぼくらの村の未来」【C郷土愛D自然愛護】 寫本弥生教諭
- 4 ICTを活用した授業
  - ・第1学年 国語科「読み物教材のよりよい音読をめざして」 田邊真由美教諭
  - ・第2学年 算数科「身近なところでかけ算を見つけよう」 田中美穂教諭
  - ・第3学年 体育科「よりよい幅跳びの跳び方を目指して」 山本 諭教諭
  - ・第4学年 算数科「個人差に対応したICTの活用」 古屋岳治教諭

### Ⅳ 成果と課題

#### 1 成果

- ・生活科や総合的な学習の中で行った地域学習を通して、児童が資料やICTを活用し、思考しながらまとめる力を伸ばすことができた。
- ・「ふるさと学習発表会」をしたことで、児童のまとめた学習の成果や玉宮地域のよさを児童と地域の方々と共有できた。
- ・「ふるさと学習発表会」においても各学年の発達段階に応じたICTの活用の様子が伝わる発表ができた。
- ・今後の総合的な学習などに生かせる地域学習資料集を作ることができた。
- ・3校TV会議授業や「ふるさと学習発表会」に向けて内容・発表の仕方を考えたことを通して、児童の発言の内容や発表の仕方が向上した。聞く力・話す力も向上した。
- ・ICTを適切に活用することで、児童の学習意欲の高まりが見られた。
- ・タブレットやedutab、TV会議システムの活用実践を重ねる中で、より有効な活用方法を探ることができた。
- ・TV会議の活用により、6年道徳授業で見られたように、他校の様々な意見を聞く機会ができ、児童一人一人の思考の幅が広まるなど少人数の課題を解消する有効な手段となった。

#### 2 課題

- ・思考力・表現力・コミュニケーション力を高めるためにも継続的に他校との交流がもっと気軽にできたらよいと感じた。
- ・各学年のTV会議の内容や様子を伝え合う機会をもっと持てるとよいと思う。
- ・3校の交流について、授業などでの活用法に関しては、まだまだ研究の余地がある。

### V 成果物

- ・学習指導案及び実践記録
- ・「地域学習資料集」
- ・玉宮スタンダード
- ・アウトメディアカード



(研究主任 古屋岳治)